

# 図書室通信



第29号 伊集院中学校図書室 令和元年11月 霜月 November

あざやかに 秋深まる・・・

11月。今年のカレンダーも残り2枚となり、1年が過ぎるのを早いと感じる皆さんも多いと思います。先日は文化祭が盛大に行われました。皆さんの頑張りがあちこちに感じられる、すばらしい文化祭だったと思います。

日に日に朝晩が一段と冷え込むようになりました。でも、日中はぽかぽかと暖かい日が続きます。このように日中春のような陽気を感じる日を小春日こはるびより和わといひます。

また、イチョウやもみじが色づく時期ですね。本格的な冬を前に、美しくおだやかな時間が流れます。



## —伊集院中読書旬間—

11月25日(月)～12月6日(金)

\*「本のひとこと感想」を記入します。  
→11月28日(木)

\*「ミニ・ビブリオバトル」を行います。  
→12月5日(木) 昼休み時間  
参加者募集中です。  
自分の好きな本についてグループに分かれて3分以内で語ってみませんか？  
以外に楽しい！話したくなる！

## 「ポップコンテスト IN 文化祭」

ご協力ありがとうございました！

最優秀賞 3-3 中條美侑さん  
優秀賞 1-4 加藤美桜さん  
優秀賞 1-3 奥 歩美さん

excellent!

## 本と音楽のつどい 11月8日(金)

昼休みの図書室で、絵本と音楽のコラボで、読書のイベントを行いました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

### Program

- 1 絵本「どこいったん」
- 2 音楽「馬と鹿」
- 3 詩「ことばあそびうた」
- 4 音楽「愛を感じて」
- 5 絵本「パスラの図書館員」



本のある空間での演奏に感動…。

50人近くの皆さんが参加してくれました！

「どこいったん」はちょっと怖い…。



## 実は“おもして！”鹿児島弁！！

かごしまべん



皆さんはあまり使わなくなってきた鹿児島弁。

県民の方言に対する関心と理解を深め、普及の促進を図るため、11月の第3週を「鹿児島方言週間」として制定。県内で広報やイベントが開催されます。

鹿児島弁は他県の人が聞くと、さっぱりわからないと言われます。イントネーションも単語も独特で、エリアによって言葉遣いがちょっとちがいます。わたしたちが生まれ育った土地の言葉の温かみを見直してみませんか。

- ・なんちゅうはならん → 感動する  
「雪化粧ゆきげしょうの桜島はなんちゅうはならん」
- ・げんねこっ → 申し訳ない  
「やんかぶった頭でげんねこっじゃ」
- ・ぬっか → 暑い  
「ぬっか ぬっか 夏は暑い」
- ・がつつい → 本当に  
「がつつい はがいか 蚊がぶんぶん」
- ・ラーフル → 黒板消し  
「ラーフルって黒板消しの鹿児島弁」
- ・ぴ → とげ  
「ぴが刺さる ぴはとげのこと」
- ・こまんか → 小さい  
「こまんか赤ちゃん むじよかねえ」
- ・たまがった → びっくりする  
「たまがった一、魂も消えるくらいに驚いた」
- ・なおす → 片づける  
「なおすってのは、片づけること」
- ・ちんぐわらっ → めちゃくちゃ  
「ちんぐわらっ 割れたごはん茶碗」

参考・「鹿児島弁辞典」、「かごしまことばあそびうたかるた」(ともに南方新社)

## ココロに届く絵本のメッセージ。

♪新着の絵本です、手に取ってご覧ください！



### □字のないはがき

向田邦子・原作 角田光代・文 西加奈子・絵

1年生の国語の教科書に載っている向田邦子さんの作品を絵本化！  
戦争中、小さな妹を疎開させる時、父は、「元気なときは大きな○を書くように」とたくさんのはがきを渡しました。しかし、大きな○がいたのはがきは、すぐに小さな○になり、やがて×になり……。向田さんの末の妹、和子さんと、いつもは怖い存在だった父とのエピソードを綴った実話です。  
ともに直木賞作家の角田光代さんの文章と、西加奈子さんの絵で、感動の絵本によみがえりました！

### □はじまりの日

ボブ・ディラン・作 ポール・ロジャース・絵

「きみが手をのばせば しあわせにとどきますように」——。  
ボブ・ディランの名曲『Forever Young』に、詩人アーサー・ビナードの訳詩と、新たにさわやかな絵が加わって、希望あふれる絵本になりました。  
これから生きていく子どもたちへの励ましと、希望あふれるメッセージ！



### □出 発—から草もようが行く

小泉み子・作絵

朝早く、浩は家を出ました。結婚が決まったねえさんの嫁入り道具を運ぶのです。焼け野原の東京、バラックの街並みを浩はリヤカーですすみます。予科練に志願して命は国にささげるのだと思っていました。死んでいった仲間の顔が浮かんで消えます。それなのに、今日からは生きろと言われても——。